

令和元年9月17日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

山梨大学地域未来創造センター 新リカレント教育講座開講のお知らせ ～ワイン科学とデータサイエンスの基礎を学ぶ～

本学地域未来創造センターでは、新たなリカレント教育の取り組みとして、下記の通りワイン科学とデータサイエンスに関する2つの連続講座を開講します。

つきましては、当講座を多くの方に知っていただくためにも、イベント情報欄等でご紹介のほどお願い申し上げます。また、当日の取材もよろしくお願い申し上げます。

記

○ワイン科学講座

ワインの品質には、原料であるブドウの栽培のほか、醸造、貯蔵・熟成、流通まですべての工程が大きく関わっており、それらに関連して発達した様々な学問を総称して「ワイン科学」と呼んでいます。

本講座では、その入門編としてテイスティングや施設見学を交えながら、専門の講師陣がワインに関する主要なテーマをわかりやすく解説します。

○データサイエンス基礎セミナー～ディープラーニングのイロハを学ぶ～

IoT や機械学習の発展がめまぐるしい現在、「データ分析で課題解決できる力」を持ったデータサイエンティストが注目を集めています。

本講座では、データサイエンス分野の中で最も注目を集めている「ディープラーニング」を取り上げ、その技術の初歩を実習付きで解説します。

※いずれの講座も、所定の課程を修了した方に修了証書を授与します。プログラム詳細については別添のご案内をご参照下さい。

(お問い合わせ先)
山梨大学地域未来創造センター
電話：055-220-8130 FAX：055-220-8702
E-MAIL：chiiki-c@yamanashi.ac.jp

ワイン科学講座

「ワイン科学」という言葉をご存知でしょうか。

ワインの品質には、原料であるブドウの栽培、醸造、貯蔵・熟成、流通までのすべての段階が大きく関わることから、ワインに関するさまざまな学問が発達し、その総称を「ワイン科学」と呼んでいます。

今回の講座では、その入門編として、ワインに関する主要なテーマについて、テイastingや施設の見学を交えながら、専門の講師陣がわかりやすく解説します。

ワインへの理解を深めるとともに、その魅力を体感できる4日間。どなたでもお気軽にご参加ください。

2019年 11/16(土), 12/21(土) 2020年 1/11(土), 2/8(土)

【時間】 13:00~16:30

【会場】 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター (東京都港区芝浦3-3-6)

山梨大学 大村記念ホール (山梨県甲府市武田4-4-37)

【対象】 ワインに興味のある20歳以上の方

【定員】 20名程度

【参加費】 22,000円 (税込)

【注意事項】

※1 会場までの交通費につきましては、各自負担となります。

また、1/11及び2/8の講義ではワインテイastingがございまして、ご来学の際は公共交通機関をご利用下さい。

※2 ご入金後、辞退及び欠席となる場合も返金はいたしません。

講義計画

11/16

「世界のワインについて」

青木 富美子 氏 (ワインジャーナリスト)

「国内ワイン状況と日本ワインについて」

村上 安生 (山梨大学 客員教授)

東京工業大学・
キャンパスイノベーションセンターでの講義

12/21

「ソムリエからみたワイン」

長谷川 純一 氏 (「俺のフレンチ・イタリアン
青山」支配人兼シェフソムリエ)

「ワイン醸造について」

松本 信彦 (山梨大学 客員教授)

東京工業大学・
キャンパスイノベーションセンターでの講義

1/11

「ワインの商品開発」

柳田 藤寿 (山梨大学 教授)

山梨大学・大村記念ホールでの講義後、
ワイン科学研究センターの見学とテイasting

2/8

「サドヤワインについて」

萩原 健一 氏 (株式会社サドヤ 顧問)

山梨大学・大村記念ホールでの講義後、
ワイナリー・サドヤの見学とテイasting

講師プロフィール

青木 富美子 氏

NHK、サントリーを経て、現在ワインジャーナリスト。NHK文化センター青山校、ホテルオークラワインアカデミー専任講師。
 1999年3月～2006年3月まで日本ソムリエ協会理事。
 2003年3月～2009年3月まで機関誌『Sommelier』編集長。
 シャンパーニュ騎士団から「シュヴァリエ」、「オフィシエ」受章。
 著作に『映画でワイン・レッスン』等、ニュースサイト『ワインのこころ』発信中。

村上 安生 客員教授

エノログ（ワイン醸造技術管理士）、ボルドー大学ワイン利き酒適正資格（DUAD）取得。
 1974年山梨大学大学院修士課程 工学研究科醸酵生産学専攻を修了しサントリー(株)入社。山梨ワイナリー（現 登美の丘ワイナリー）所長、ワイン生産部長などを歴任。嘱託等を経て2015年に退社。
 1984～1986年フランス ボルドー大学に派遣。
 現在は（一社）葡萄酒技術研究会専務理事、日本ワイナリー協会参与、（一社）日本ソムリエ協会顧問など。

長谷川 純一 氏

レストラン「アピシウス」メートル・ド・テルなどを経て、2013年俺の(株)入社。現在「俺のフレンチ・イタリアン青山」支配人兼シェフソムリエ。自由が丘ワインスクール講師。
 第7回JALUX WINE AWARD準優勝。第16回メートル・ド・セルヴィス杯 全日本大会 優勝。第6回CGB世界サーヴィスコンクール パリ大会 準優勝。
 山梨大学ワインフロンティアリーダー養成プログラムにて講演など。

松本 信彦 客員教授

エノログ（ワイン醸造技術管理士）取得。
 1969年3月山梨大学工学部発酵生産学科卒。同年マンズワイン(株)入社。
 1976～1978年フランス・ボルドー大学醸造学科に留学。フランス国ワイン醸造士資格取得。ボルドー大学利き酒適正資格取得。
 専務取締役を経て現在常任顧問及びキッコーマン(株)顧問。
 （一社）葡萄酒技術研究会会長、山梨県ワイン酒造組合専務理事、山梨大学客員教授。

柳田 藤寿 教授

1961年東京生まれ。山梨大学地域食物科学科およびワイン科学研究センター教授。1988年に東京農業大学大学院を修了し農学博士号取得。2000年、世界初の海洋酵母によるワイン開発に成功。2010年、「大豆で作った飲むヨーグルト」（ワイン酵母使用）を開発。2011年から日本で飲む最高のワイン審査委員長。現在、日本乳酸菌学会、日本ブドウ・ワイン学会、日本食品保蔵科学会などに所属。

萩原 健一 氏

1947年神奈川県生まれ。1971年東京教育大学農学部卒、サントリー山梨研究室、カリフォルニア大学デーヴィス校留学、1989年山梨ワイナリー勤務時に農業部門初のデミング賞事業所表彰その一翼を担う。2000年新潟県上越市のワイナリー岩の原葡萄園社長、2008年甲府市の(株)サドヤ社長、顧問、現在に至る。

参加申込書

氏名			年齢	
住所				
TEL(FAX)		携帯番号		
E-mail				

参加をご希望の方は、必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。

募集期間：9月9日（月）～10月1日（火）

なお、お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込者の個人情報公開講座の連絡等、運営に関してのみを利用目的とし、主催者にて適切に管理いたします。

FAX 055-220-8702

メール chiiki-c@yamanashi.ac.jp

※メールの場合は、件名を「ワイン科学講座申し込み」としてください。

※お申し込み後、いただいた住所に「受講料の振込みについて（案内）」を送付いたしますので、指定日までに受講料をお振込みください。入金確認でき次第、お申し込み完了となります。

データサイエンス基礎セミナー

～ディープラーニングのイロハを学ぶ～

IoTや機械学習の発展がめまぐるしい現在、データサイエンティストが注目を集めています。最近は大企業もその育成に取り組んでおり、「データ分析で課題解決できる力」を持った人材を集めることが、ビジネス成功の大きな鍵になってきています。今回のセミナーは、データサイエンスの中で最も注目を集めている「ディープラーニング」を取り上げ、その技術の初歩を実習付きで解説します。



本セミナーは超入門という位置付けであり、ディープラーニングに興味はあるものの、どうやって取り掛かれればよいのかが分からないという方に適しています。今回のセミナーでは、株式会社 Preferred Networks が開発している「Chainer」というディープラーニングのフレームワークを利用し、身近な問題を実際に解くことで、ディープラーニングへの理解を深めていただきます。

日時 令和元年11月30日(土) 13:00~17:30
12月7日(土) 13:00~17:30

※進行状況によって時間が前後する場合がございます。

会場 山梨大学 甲府キャンパス
B-1号館3階 310号室
(山梨県甲府市武田4-3-11)

講義計画

11月30日(土)

13:00~15:00 **第1回 ディープラーニングの概要とColaboratoryの使い方**
・ディープラーニングの理論とPython言語(特にnumpy)
・Colaboratoryの使い方

15:30~17:30 **第2回 ニューラルネットワークの基礎**
・全結合型ニューラルネットワークの設計とその実習
・よりよいニューラルネットワークの設計や訓練を行うためのコツを解説

12月7日(土)

13:00~15:00 **第3回 少し複雑なニューラルネットワークとその実習**
・畳み込み型・再帰型ニューラルネットワークの設計とその実習

15:30~17:30 **第4回 ディープラーニングを使ったオリジナルタスク**
・画像からの物体検出・分類、話者認識、ロボット制御など、受講者がやってみたいタスクを自分自身で設計してみる

【定員】20名程度

【対象】ディープラーニングに興味のある技術者や一般の方

必須条件

プログラミング経験のある方

参加費: 33,000円(税込)

※ご入金後、辞退及び欠席となる場合も返金はいたしません。

※各自ノートパソコンをお持ち下さい。OSはWindowsでもmacでも構いません。

※プログラミング言語: Python
※実行環境:

Google Colaboratoryを利用します。Googleアカウントが必要です。

講師

西崎 博光

1975年生まれ。山梨大学大学院総合研究部准教授。研究専門は音声言語・マルチメディア情報処理。近年はディープラーニングを用いた音声・画像処理の研究に取り組んでいる。牧野准教授と共同で『算数&ラズパイから始めるディープラーニング』(CQ出版)や『Pythonによる深層強化学習入門』(オーム社)を執筆している。また、国内外においてディープラーニングに関する講習会や講演会の講師経験も多い。

牧野 浩二

1975年生まれ。山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センター准教授。専門は医療福祉ロボット。近年はディープラーニングを用いた自動診断補助システムの研究に取り組んでいる。また、ディープラーニングに必要なデータ収集デバイスの作成も行っており、『Interfaceの連載(アルゴリズム探検隊)』(CQ出版)や『たのしくできるArduino電子工作』(東京電機大学出版)なども執筆している。

会場とお申し込みの詳細につきましては、裏面をご覧ください。



会場案内図



最寄り駅から徒歩

JR甲府駅北口より武田通りを北上
 所要時間15分

バス

JR甲府駅北口バスターミナル2番乗り場
 「武田神社」または「積翠寺」行き
 バス停「山梨大学」下車
 所要時間5分

車

中央自動車道「甲府昭和IC」で降りて、一般道を北東の方角へ
 国道20号線またはアルプス通り経由で約20分

※駐車台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

※交通費は自己負担となります。

※お車でお越しの際は、総合案内所でパスカードを取得し、工学部駐車場をご利用下さい。

募集期間

9月9日(月)

～10月1日(火)

参加
 申込
 書

氏名			
住所			
TEL(FAX)		携帯番号	
E-mail			

参加をご希望の方は、必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。
 お申し込み受付は先着順とし、定員になり次第、締め切らせていただきます。
 なお、申込者の個人情報(公開講座の連絡等、運営に関してのみ)を利用目的とし、主催者にて適切に管理いたします。

FAX 055-220-8702

メール chiiki-c@yamanashi.ac.jp

※メールの場合は、件名を「データサイエンス基礎セミナー申し込み」として下さい。
 ※お申し込み後、いただいた住所に「受講料の振込みについて(案内)」を送付いたしますので、指定日までに受講料をお振込み下さい。入金が確認でき次第、お申し込み完了となります。

